

## 重複障害学級 生活単元学習指導案

1・2年4組, 3年5組 計6人 (男子4人 女子2人)

指導者 CT 中村 修一

ST 増田由美子, 小林 孝充, 岩元 美紀

### 1 単元名 冬のあそび

### 2 単元目標

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	主体的に学習に取り組む態度
季節の行事について, 日にちや内容を知ることができる。	活動を通して好きなことを選んだり, 伝えたりすることができる。	友達や教師と一緒に準備や活動をすることで, 他者との関わりや活動の雰囲気の楽しさを味わおうとすることができる。

### 3 単元について

#### (1) 単元の位置付けとねらい

本グループは, 重複障害学級1組(1年生2人, 2年生1人), 2組(3年生3人)の異学年の生徒で構成されている。生徒は, 言葉でのやりとりをしたり, 発語がなく表情などで意思を伝えたりするなど実態は様々である。これまで, 作業学習や音楽, 体育など合同で学習を行い, 異学年であっても関わる機会は多くあった。年度当初生徒達は, お互いを意識したり, 関わったりする姿が学級の中ではよく見られたが, 学級以外の生徒と休み時間など, 学習以外の場で自ら関わる姿は見られなかった。しかし, お楽しみ会や季節の行事など合同で学習していく中で, 学習以外の場面でも関わりをもつ姿が見られるようになってきている。また, 季節感が乏しく, 四季の移り変わりやその季節ならではの様子や行事などを十分につかめていないと感じることもある。そこで, 季節の行事に向け, 一緒に準備をしたり, 活動したりすることで, やりとりや共同作業を通して, 季節や活動の楽しい雰囲気を感じ, より相手を意識できるように, 本単元「冬のあそび」を設定した。

そこでは, 季節の行事がイメージできるように具体物やICTを活用し, 行事に関する飾りを見たり, 音楽を聴いたりできるようにする。また, ペアで制作活動をしたり, レクリエーションなどをしたりして, 他者との関わりや活動中の雰囲気の楽しさを味わえるようにしたい。

このような学習を通し, 季節の行事に興味・関心をもち, 行事に参加したり, 雰囲気を楽しんだりすることができるようになると思われる。また, 生活の中でも他者との関わりを積極的にとったり, 楽しんだりするようになることを考える。

#### (2) 単元における学びの視点

主体的な学び	自ら行動するなど意欲をもって取り組めるよう, 具体物やICTを効果的に活用したり, 制作活動を取り入れたりする。
対話的な学び	生徒同士や教師との関わりの中で, 楽しい雰囲気を作るように, 一緒に活動する場面を設定する。
深い学び	季節によっていろいろな行事があることに気付いたり, 参加して楽しんだり, 地域の行事等へ興味・関心をもつようになる。

### 4 指導計画

※ 別紙の「単元の指導計画」を参照してください。

5 本時（1 / 4）

単元・題材	冬のあそび	時数	1 / 4	チーフ	中村	期日	令和2年2月14日(金)2校時	場所	1・2年4組教室
目標	本時の重点目標 <input type="checkbox"/> 知識及び技能 <input checked="" type="checkbox"/> 思考力, 判断力, 表現力等 <input type="checkbox"/> 主体的に学習に取り組む態度								
	<input type="checkbox"/> ひな祭りに向けての準備など活動に興味をもつことができる。 <input type="checkbox"/> 自分の考えていることを伝えたり, 発表したりすることができる。								
学習の流れ	主な学習内容		本時における学びの視点			指導上の留意点			
	1 始めの挨拶をする。		【主】 写真や音楽などを使用し, ヒントを出すことで, 気付けるようにする。			<input type="checkbox"/> 季節によって行事があることを伝え, 1月から3月までの行事について確認する。 <input type="checkbox"/> 自分の意見を言ったり, 友達の意見を聞いたりして, 協力して計画を立てることを伝える。 <input type="checkbox"/> 季節の行事に使われる飾りなどの写真を提示したり, 音楽を流したりして思い出せるようにする。 <input type="checkbox"/> テレビに注目できるような言葉掛けをする。			
	2 学習の内容を知る。 ひな祭りの計画をたてよう								
	3 ひな祭りについて考える。		【主】 写真や具体物を提示することで, 選択して意思を伝えられるようにする。 【対】 生徒の実態に合わせて, 意見や発表などを相手に伝えられるようにする。			<input type="checkbox"/> 対話が可能な生徒をペアにして話しやすいように場の設定をする。 <input type="checkbox"/> 制作方法など具体物や写真カードを使用し, 選択して意思を伝えられるようにする。 <input type="checkbox"/> 表情や視線など生徒の様子を伝えながら, 意見を全員に伝える。 <input type="checkbox"/> 決まったことの確認をし, 次時の活動の期待感がもてるようにする。			
	4 ひな祭りの話を聞く。								
	5 ひな祭りの計画を立てる。 ・ ひな人形の制作方法について決める。 ・ レクリエーションの決め方について知る。		【主】 写真や具体物を提示することで, 選択して意思を伝えられるようにする。 【対】 生徒の実態に合わせて, 意見や発表などを相手に伝えられるようにする。						
	6 本時の振り返りをする。								
	7 次時の学習内容を知る。								
	8 終わりの挨拶をする。								
場の設定			発表時は, お互いの顔が見えるように向きを変える。						

